

編集後記

7月20日に開催された「第20回定時代議員会におけるご質問に対する説明会」に出席した後、大学生時代に家庭教師をした教え子のY先生と一緒に食事をしようと「分家うなぎの隆美」にいつものように行くと、僕ら以外の予約は全てキャンセルとなったそうで、貸し切り状態で美味しい鰻を食べて帰りました。当日の新型コロナウイルス感染者数は過去最高の2,718人、飲食店の営業規制をしなくても自主規制がものすごく機能していることを実感しました。

誌上ギャラリーは有馬義孝先生の鹿児島市の都市農業センターの風景で、期待していた向日葵の花はまだのようですが、力強い草木の様子が見られます。向日葵は、僕にとっては映画「ひまわり」のラストシーンが印象深い花ですが、ウクライナとロシア両国の国花です、両国の戦争が1日でも早く終わることを切に願っています。

論説と話題は、公益社団法人移行して20回目の代議員会の報告です。代議員会で問題となった検査センターの584万の損金問題ですが、執行部からの簡略な回答は上ノ町会長がいつも言うておられる「義を尽くして」という言葉とはかけ離れた感があり、不満を持った代議員は少なからずいました。その後、全区区長より詳細の説明を求める意見書が提出され、7月20日に顧問弁護士の野田健太郎先生も出席して頂き、前述の会が開催されました。詳細は個人情報保護法の観点から明らかにできないようですが、概要は本号別冊に掲載されますので代議員会議事録と併せてお読みください。執行部におかれましては、代議員会で義を尽くすために、適切で充分な説明準備をお願いします。

緑陰銷夏号の名物「緑陰随筆特集」に今年は11人の方から投稿を頂きました。通常の医報では知る事の出来ない各界の業界話、趣味の一端の披露などがあり、大変盛り沢山で読み応えあるものになりました。県炭

養士会会長の油田幸子さんの「胡瓜の香り」を読みながら、胡瓜フレーバーのするジン「ヘンドリックス」を飲みたくなりました。通常のジントニックはジンとトニックウォーターとライムで作りますが、ヘンドリックスで作る時はジンとトニックウォーターに胡瓜のスライスで作ります。最初に飲む時は本当に胡瓜で美味しいのだからと不安ですが、意外に美味しく僕は夏に自宅で作って楽しんでます。

学術は、南風病院から、とても珍しい健康者のインフルエンザ感染症後に発症した侵襲性肺アスペルギルス症の症例報告です。新型コロナ感染症で2年ほど流行しなかったインフルエンザも、オーストラリアの状況から類推するとこの冬はダブルで流行しそうなので、もしかすると遭遇するかもしれない症例ですのでご一読ください。

リレー随筆は、鹿児島大学病院の鮫島芳宗先生の「研究のすゝめ」です。学生時代から大学院卒業までお世話になった恩師の佐伯武頼鹿児島大学名誉教授がいつも言われていたのが、「研究は、1.まず対象を決める、2.現状把握、3.問題発見、4.問題解決方法を考え出す、5.実験をする、6.結果を評価するの6つのステップがあり、6の次は3に戻ってさらに繰り返すことである」ということであり、「研究とは、より良く生きるための日常である」と言う言葉を思い出しました。

新型コロナウイルスのオミクロン株はBA.4、BA.5系統に置き換わり感染力は強くなり、ワクチン4回目接種対象者が60歳以上と18歳以上の基礎疾患を有する者から、医療従事者、高齢者施設等の従事者に拡大されましたが、みなさんはどうされますか？僕は61歳なのですでに4回目接種を受け、接種証明アプリも4回目接種済みに登録更新しました。

(編集委員 島田 辰彦)